

# 製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社  
住所 東京都台東区池之端 1-4-26  
担当部門 生産資材部生産業務課  
電話番号 03-3822-5180  
FAX 番号 03-3827-0825  
作成・改訂 2009年 9月17日

整理番号 KH091-1

## 1. 製品名 テロス250グラム

---

### 2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：N, N-ジメチル-3-メチルスルホニル-1 H-1, 2, 4-トリアゾール-1-カルボキサミド

／一般名：カフェンストロール

3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクト-2-エン-4-オン

／一般名：ベンゾビシクロン

成分及び含有量：カフェンストロール 8.4%

ベンゾビシクロン 8.0%

鉱物質微粉 等 83.6%

化学式：C<sub>16</sub>H<sub>22</sub>N<sub>4</sub>O<sub>3</sub>S／カフェンストロール

C<sub>22</sub>H<sub>19</sub>ClO<sub>4</sub>S<sub>2</sub>／ベンゾビシクロン

官報公示整理番号：安衛法 8-(3)-834／カフェンストロール

CAS No. : 125306-83-4／カフェンストロール

156963-66-5／ベンゾビシクロン

国連分類：国連基準で評価して、危険有害物に該当しない。

国連番号：

---

### 3. 危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

有害性：眼を刺激する。

危険性：通常の使用方法で問題無し。

環境影響：水産動物に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意すること。

除草剤であり、植物に影響がある。

---

### 4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出

させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

---

## 5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガス（硫黄酸化物、塩素化合物、フッ素化合物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

---

## 6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：飛散、流出した製品が、環境への影響を起ささないように注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。大量の場合は、水で湿らせる等により飛散を防止する。

---

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

---

## 8. 暴露防止措置

許容濃度 日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服

---

## 9. 物理・化学的性質

外観等：類白色粒状

pH（10倍希釈液）：8.0～10.0

見掛け比重：0.35～0.50

---

## 10. 危険性情報

引火点：無し

安定性：通常の保管環境下で安定

加水分解（酸、アルカリと加熱）、加熱（160℃以上）によりアンモニアを発生する

反応性：通常の保管環境下で無し

---

## 11. 有害性情報

刺激性（皮膚）：ウサギ 軽度の刺激性を有する

刺激性（眼）：ウサギ 中程度の刺激性を有する

感作性（皮膚）：モルモット 陰性

急性毒性（経口）：ラット（♀） LD<sub>50</sub> > 2500 mg/kg

急性毒性（経皮）：ラット（♂ ♀） LD<sub>50</sub> > 2000 mg/kg

がん原性：無し／カフェンストロール、ベンゾビシクロン

変異原性：陰性／カフェンストロール、ベンゾビシクロン

催奇形性：無し／カフェンストロール、ベンゾビシクロン

---

## 12. 環境影響情報

魚毒性：コイ LC<sub>50</sub> 7.6 mg/l (96時間)

オオミジンコ LC<sub>50</sub> 21.7 mg/l (48時間)

藻類 E<sub>b</sub>C<sub>50</sub> 0.00361 mg/l (72時間)

---

## 13. 廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

---

## 14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。水濡れに注意する。

---

## 15. 適用法令

農薬取締法（登録番号：第21542号）

PRTR法（対象物質：カフェンストロール 第一種指定物質 111号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 148号）

※ 政令改正前（平成21年9月30日まで）の情報に基づくPRTRの届出は、平成21年度分までであり、22年4月からは政令改正後の第一種指定化学物質による排出・移動量の把握が必要となります。

---

## 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）

2) 農薬中毒の症状と治療法 平成20年4月 農林水産省農蚕園芸局

3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

## 作成部署以外の連絡先

（財団法人）日本中毒情報センター 大阪（年中無休、24時間）

0990-50-2499（ダイヤルQ2：情報料無料、通話料は相談者負担）

072-726-9923（医療機関専用：1件2000円）

つくば（毎日9時～21時）

0990-52-9899（ダイヤルQ2：情報料無料、通話料は相談者負担）

029-851-9999（医療機関専用 1件2000円）